

V - 1 令和4年度 学力向上推進計画

1 目 標

児童一人一人に、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」などの「生きる力」をはぐくむ。

2 方 針

(1) 基本方針

P D C A のマネジメントサイクルに基づき、実効性のある学力向上の取組を推進する。

- ① 学校教育目標の具現化のため組織的で継続的な取組を推進しつつも、全職員の意欲と創意工夫を尊重し、自主的・主体的活動を重視する。
- ② 学習環境を整備し「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」、それらを支える「基本的生活習慣の形成」を基盤に、児童の生きる力を効率良く育成する。
- ③ 生きる力を育成するための重点指導項目として「確かな学力の向上」をおき、学級経営の充実を基盤に、授業改善の具体的かつ効果的な推進を目指す。
- ④ 基本的な生活習慣の確立と児童とのよりよい人間関係づくりをめざし、教育相談、生徒指導の充実に努める。
- ⑤ 健康の保持増進及び体力の向上を図る保健・安全指導に努め、家庭・地域との連携を図る。
- ⑥ 各学年で身につけるべき内容を確実に定着させ、それらを活用して実生活に生かす確かな学力（思考力・判断力・表現力）を向上させる取組の充実を図る。
- ⑦ 学校、家庭、地域が連携・協力して日常的な取組を推進する。

< 確かな学力の向上 > (知)

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など。

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着 (読み・書き・計算等、学習の原理原則の習得)
- 必要な思考力・判断力・表現力等 (習得した知識・技能を活用する力)
- 主体的に学習に取り組む態度 (学習意欲)
- 学習を支える力の育成

授業と連動した家庭学習 (予習・復習) の徹底と教科等の学習に向かう基本的な姿勢

< 豊かな心の育成 > (徳)

自ら律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など。

- 人間関係づくりの力をはぐくむ取組の充実
- 自己の将来や生き方を考える指導の充実
- 規範意識の高揚や公共物等を大切に作る心を育成する指導の充実

< 健やかな体の育成 > (体)

たくましく生きるための健康や体力。

- 生活との関連を図った健康づくりの充実
- 日常的な運動、遊びをととした体力づくりの充実

< 基本的な生活習慣の形成 >

生命尊重、健康、安全、規則正しくきまりよい生活、礼儀作法、社会生活など。

- 生活リズムの確立
- 規範意識・マナーの育成

(2) 学習指導方針

① 指導体制の改善・充実 (校内研修との連動)

- 学力向上3つの柱の「確かな学力の向上」については、校内研主任と学推主任が連携し、研究と研修を充実させる。
- 指導案の作成、授業研究会等を隣学年、学校全体で行うなど、広く意見を交わし合い、より効果的な指導が行える体制を構築する。
- 学校内の人材活用を充実させたり、学校外の様々な分野の専門家の参加・協力を得るなど、指導の効果を高めるための理論研や実践演習等の工夫に努める。
- OJT体制を充実させ、「見て学ぶ」「やって学ぶ」の精神で、先輩教諭や同僚と広く意見を交わし、自己の教師力、授業力が向上していけるよう創意工夫する。

② 指導方法の改善・充実

- 児童に基礎的・基本的な知識・技能を習得させるため、学びのたしかめや諸学力調査を活用し、児童個々の実態に応じた指導を徹底する。
- 繰り返し学習などスパイラルによる指導を充実させるとともに、その充実のために、授業(本時)と授業(次時)をつなぐ宿題の与え方(授業と連動した家庭学習【予習・復習】等を徹底する。
- 校内研修で得た授業の原理原則を活用し、普段の授業実践に生かす。

③ 指導と評価の一体化

- 観点別評価規準を明確にした上で、評価方法や評価時期を工夫した計画を作成し、指導と評価の一体化(指導→評価→指導)による指導の充実を図る。
- 児童生徒の学習の状況や進歩の状況を認め励ます自己評価あるいは個人内評価を工夫する。

④ 教材・教具の活用・開発

- 電子黒板の効果的な活用を図る。
- 視聴覚教材やICT情報機器等関連の教材・教具、IT教育センターの教育情報共有システムの計画的な活用を図る。
- 図書館、博物館、郷土資料館等を積極的に活用し、地域素材の教材化を図る

(3) サイクル(令和3年度)

月	取組内容	月	取組内容
4月 学力向上年間 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・春休み宿題点検 ・授業に於ける基本事項及び統一事項の確認、わかる授業の構築 ・「自己肯定感を高める」週間 ・「学力向上推進計画」の確認 全国学力学習状況調査取組(5/27)(自己採点・入力) 標準学力調査(2～5年) 学力向上月間(学習規律強化月間) 全国学力状況調査結果の活用 ・成果課題把握、結果分析共有 【全国学調の分析と対応策】 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・補習指導の徹底 ・11月の「学びのたしかめ」に向けて ・わかる授業の構築
		11月	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのたしかめ」(3～6年) ☆過去問実施(自己採点・入力)結果分析共有 ・補習指導の徹底
		12月	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのたしかめ」の分析・対応策 「学びのたしかめ」の結果をもとに補習指導の実施(学年か個人に絞る)
6月	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのたしかめ」(3～5年)(自己採点・入力)結果分析共有 ○町主催「英語教室・PC教室」募集・人数確認 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 【学力向上強化月間(ステップアップ)】 ・「自己肯定感の高まりや・学び・育ちを実感する」週間 ・県学力到達度調査の取組 ・わかる授業の構築 ・補習指導の充実 第2回漢字検定 1/14
7月	<ul style="list-style-type: none"> 【徹底事項反省・評価】 ・夏休みサマースクール「算数教室」 第1回漢字検定 7/2 7月中旬 全国学力状況調査(文科省公表予定) 校内研修にて分析・改善策の再検討 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ●県学力到達度調査(3年～6年)採点・入力(放課後) ・県学力到達度調査の分析と対応策 成果課題把握、結果分析共有
8月	<ul style="list-style-type: none"> 【学力向上強化月間(やる気アップ)の取組の検討】 		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度学力向上推進計画の検討・作成
9月	<ul style="list-style-type: none"> 【学力向上強化月間(やる気アップ)の取組】 ・「自己肯定感を高める」週間 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・到達度調査の結果をもとに、補習実施